

# 稲作情報

(分けつ期の管理)

令和7年度第2号

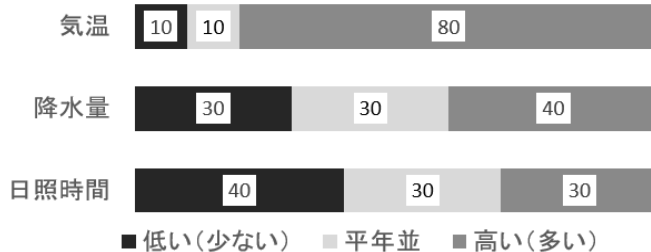
令和7年6月13日発行、福島県会津農林事務所喜多方農業普及所、J A 会津よつば、喜多方市、北塩原村、西会津町

生育ステージに応じた水管理(浅水管理と中干し)で、有効茎を早期に確保しましょう！

## 1か月予報

- 前半は気温がかなり高くなる見込みで、この1ヶ月は曇りや雨の日が多いでしょう。
- 平年気温は高い確率80%、降水量は多い確率40%、日照時間は少ない確率40%です。

仙台管区气象台(6月5日発表)



## 生育状況

水稻作柄解析試験生育調査結果(会津地域研究所)、6/3 現在 ※移植日：5/20、栽植本数：20.8 株/m<sup>2</sup>

| 品 種 名 |     | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m <sup>2</sup> ) | 葉齢 (葉) | 葉色 (SPAD 値) |
|-------|-----|---------|------------------------|--------|-------------|
| コシヒカリ | 本 年 | 24.8    | 121                    | 4.9    | 29.9        |
|       | 平 年 | 25.6    | 129                    | 5.5    | 28.4        |
|       | 平年比 | 97%     | 94%                    | -0.6   | 1.5         |
| ひとめぼれ | 本 年 | 22.0    | 116                    | 4.7    | 27.4        |
|       | 平 年 | 23.7    | 134                    | 5.6    | 30.2        |
|       | 平年比 | 93%     | 87%                    | -0.9   | -2.8        |
| 天のつぶ  | 本 年 | 23.4    | 144                    | 5.1    | 28.0        |
|       | 平 年 | 26.0    | 132                    | 5.4    | 30.7        |
|       | 平年比 | 90%     | 109%                   | -0.3   | -2.7        |

## 水 管 理

### (1) 分けつ期

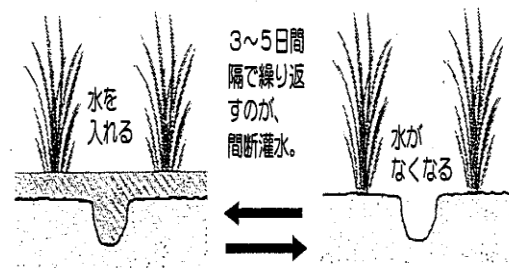
- 水深3cm程度の浅水管理(日中は止水で水温上昇を図る)で、分けつを促進させましょう。
- ガスがわく水田は、暖かい日に落水し田面からガスを抜きましょう。また、表層剥離等の発生が多い場合は、暖かい日に一時落水し発生を抑えましょう。

### (2) 中干し(6月下旬～7月上旬頃)

- 一株当たりの茎数が目標茎数の8割程(表参照)を確保出来たら中干しを開始しましょう。
- 中干しは、田面に1cm程の亀裂が入る程度(極端に乾いた場合は走り水を行い再び干す)まで行い、出穂30日前(幼穂が出来始まる頃)には終了し、その後は、徐々に間断かんがいに移行しましょう。

### 【中干しの効果】

- 土壌に酸素が供給され、根が健全化する。
- 窒素吸収を抑え、無駄な分けつの発生を抑える。
- 田面が固まり、収穫期の落水が容易になる。



「有効茎の目安」

| 品種    | 目安                                       |                |
|-------|------------------------------------------|----------------|
|       | m <sup>2</sup> 当り<br>(本/m <sup>2</sup> ) | 1株当たり<br>(本/株) |
| コシヒカリ | 430～480                                  | 21～23          |
| ひとめぼれ | 500～550                                  | 24～26          |
| 天のつぶ  | 500～550                                  | 24～26          |

1株当たり本数は、株間16cmで算出

### (3) 幼穂形成期（7月中旬頃）

- ・ 間断かんがいを行います。低温（最低気温 17℃以下、又は平均気温 20℃以下）が予想される場合は、深水管理（水深 10cm 程度）で幼穂を低温から保護しましょう。

## 雑 草 防 除

### (1) 中・後期剤による残草対策

- ・ ホタルイやクログワイ等の残草は、草の種類に応じて中期剤や後期剤で防除しましょう。  
なお、農薬を使用する場合は、農薬のラベルや登録情報を確認し、使用基準や使用方法にしたがい正しく使用しましょう。

### (2) カメムシ対策

- ・ 6月は玄米を食害し品質低下の要因となるカメムシが繁殖する時期です。畦畔やほ場周辺の草刈りを計画的に行いましょう。また、草刈りは出穂の 10 日前までに終了しましょう。

## いもち病対策

- ・ 会津地方における葉いもちの初発は、6月下旬頃です。また、田植え後に余った苗を水田に放置していると、葉いもちの発生源となるため土中に埋めるなど早期に処分しましょう。
- ・ いもち病は、日照不足や多雨、低温などで発生しやすくなります。特に窒素過多で過繁茂のほ場では、多発する可能性がありますので、ほ場巡回時は確認してください。
- ・ 田植え時に箱処理剤を使用していない場合は、水面施用剤（粒剤）等で防除しましょう。
- ・ 県病虫害防除所は、葉いもちに感染しやすい日を判定する「BLASTAM(ブラスタム)」をHPで公開していますのでご活用ください。  
『福島県 BLASTAM』で検索！

「葉いもち防除薬剤の例」

| 剤名       | 使用時期                     |
|----------|--------------------------|
| オリゼメート粒剤 | 初発の10日前～初発時(但し、収穫14日前まで) |
| コラトップ粒剤5 | 初発10日前～初発時               |
| フジワン粒剤   | 初発7～10日前(但し、収穫30日前まで)    |

## 倒 伏 対 策

福島県「ブラスタム」

### (1) ケイ酸カリ等の施用による稲体の強化

- ・ 稲は、ケイ酸やカリを幼穂形成期以降に多く吸収し、根張りが良くなり活力が高まるとともに、稈が強くなり倒れにくくなります。  
出穂40日前頃の施用が効果的です。

### (2) 中干しの適切な実施

- ・ 中干しを実施すると土壌が固められ地耐力が向上するとともに、下位節間の伸長抑制や土壌中への酸素供給により根が健全化し倒れにくくなります。

## 熱中症に注意！

- ・ これからの時期は農作業中の熱中症による救急搬送が増加します。  
熱中症対策を確認し、万全の予防を心掛けましょう。

## 無人ヘリコプター等による農薬散布

- ・ 無人ヘリコプター等で農薬散布を行う場合は、実施計画書や実績報告書等の提出が必要です。



農林水産省 HP  
【熱中症対策】



★ 本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせや相談はこちらへどうぞ

会津農林事務所 喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5743

J A会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801